

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、
「単元を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第1学年

国語（書くこと ウ）

単元名

生徒会に提言しよう—生徒会新聞に載せる写真を選ぶ—

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

自分の考えが、相手（読み手）に伝わるような文章を書くことは、
どのような時に役立つだろうか？

② 単元を貫く問い （単元を通して考え深めていく「問い」）

相手（読み手）が納得するような文章を書くためには、どのように書
く必要があるか？

③ 個別の問い （単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・ 生徒会新聞に掲載する写真として、どちらがよいか。なぜ、そう考えるか。
- ・ 相手（読み手）が納得するような文章を書くために必要な要素はなんだろうか。
- ・ 自分の意見文で、改善すべき点は、どこだろうか。
- ・ 自分の考え、根拠、理由付けは、どのようにつながっていればよいだろうか。

単元計画の 構想を立てる

- 1 「地域に配布する生徒会新聞に掲載する写真はどちらがよいか。」というテーマで意見文を作成する。
 - I 単元のゴールを理解し、まず意見文①を作成する。
 - II 悪文とモデル文を比較し、相手（読み手）が納得するような文章に必要な要素を発見する。
 - III IIで発見した要素をもとに、意見文①を分析し、改善すべき点を理解する。
 - IV それぞれの写真の長所や短所を考える。（読み手となる地域の方の反応も踏まえて考える。）
 - V どの根拠をもとに意見文を作成すれば、相手（読み手）が納得するような意見文になるか考える。
 - VI 考え、根拠、理由付けのつながりを吟味する。
 - VII 意見文を作成し、相互評価する。
 - VIII 単元全体を振り返り、相手（読み手）が納得するような文章を書くためには、どのようなことを書く必要があるか振り返る。
- 2 本単元の学習内容を活用して、異なる文脈で意見文を作成する。

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、
「単元を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第1学年

国語（C読むことⅠ）

単元名 「少年の日の思い出」-作者の意図を考えよう-

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

文学的な文章から私たちは何を得ているのか？

② 単元を貫く問い （単元を通して考え深めていく「問い」）

文章の構成によって、どのような効果が生まれていると考えられるか？

③ 個別の問い （単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・この作品のように語り手が単独ではない物語にはどんなものがあるだろう？→紹介・並行読書
- ・「ぼく」はどのような人物として描かれている？「エーミール」をなぜ登場させたのだろう？
- ・「今でも美しいチョウを見ると、～」の段落を叙述しているのは、なぜなのだろう？
- ・クジャクヤママユのエピソードが詳細に描写されているのは、なぜなのだろう？
- ・ヘッセが冒頭の場面を設定したのは、なぜだと考えられる？その効果は？
- ・各自が読んだ語り手が単独でない物語は、なぜ語り手を複数にしたと考えられる？（その効果は？）

単元計画の
構想を立てる

- 1 本文を通読し、語り手が単独でない場面を含む物語を挙げる（並行読書）
- 2 課題の解決方法について話し合い、共通理解を図る
- 3 登場人物、場面、表現の意図を考え、意見を交換して考えを振り返る
- 4 冒頭場面の効果について、自分の考えを根拠を明らかにして論理的に書く
- 5 各自が読んだ物語における複数の語り手の効果について、自分の考えを根拠を明らかにして論理的に書く

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、
「単元を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第3学年

教科等 国語（知識及び技能（1）工）

単元名 敬語の意義を考えよう

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

社会生活において、言葉を適切に使うとはどういうことか？

② 単元を貫く問い （単元を通して考え深めていく「問い」）

相手や場に応じた言葉遣いとはどういうものか？

③ 個別の問い （単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・なぜ敬語を使うのか？なぜ敬語を使った方がいいと言われているのか？
- ・敬語の役割とは何か？
- ・相手や時・場に応じて言葉を使い分けるのはなぜか？（礼儀とは何か？）
- ・相手との人間関係を形成するのに、敬語はどのように関わっているのか？
- ・敬語を適切に使えるようになることに、どのような意義（よいこと）があるか？

【単元を通した言語活動】なぜ敬語を使う（使った方がいい）のか、自分の言葉で説明しよう。

- 1 敬語を使う理由を、これまでの経験に触れながら発表し合う。
（敬語を使ってよかった・失敗した、敬語を使わなくて失敗した・よかった経験など）
⇒「なぜ敬語を使うのか？」という疑問・課題意識を生徒にもたせるようにする。
- 2 敬語の役割とは何か、相手や時・場によってどう使い分けるのかなど、敬語について考えたいことを挙げる。
- 3 グループで考えたいテーマを決め、自分たちなりの答えを考える。
- 4 グループで考えたテーマについて、お互いに発表する。
- 5 敬語を使う意義や、これから敬語をどう使うかについて自分の考えを書き、交流する。

単元計画の
構想を立てる

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、
「単元を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第3学年

国語科（C読むことウ）

単元名 表現の仕方を評価し、その価値を伝え合おう
- 『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』より -

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

表現の仕方を評価することは、社会生活のどのような場面において役立つのか？

② 単元を貫く問い （単元を通して考え深めていく「問い」）

和歌に用いられた表現の仕方には、どのような効果や意味があるか？

③ 個別の問い （単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・ 作者はこの和歌でどのような思いを伝えようとしているのか？
- ・ この和歌にはどのような表現の仕方が用いられているか？
- ・ この和歌に用いられている表現の仕方は、作者の思いを伝える上で、どのような効果があるのか？
- ・ この和歌にはどのような意味（特質・価値）があるのか？

単元計画の 構想を立てる

- 1 三首の和歌を比較し批評するという言語活動を設定し、これまでに学習したことの中から、この単元において活用可能な内容を振り返ったり、学習計画を立てたりする。
- 2 「君待つと〜（額田王）」「うたたねに〜（小野小町）」「玉の緒よ〜（式子内親王）」を比較して一首を選び、表現の仕方の効果や意味を考える学習をし、表現の仕方による効果や意味を考える際のポイントをつかむ。
 - i 各和歌に用いられている言葉や背景、作者などの歴史的背景を調べ、鑑賞に役立つものを抜き出す。
 - ii 各作者が和歌で伝えようとしている思いを捉える。
 - iii 各和歌に用いられている表現の仕方を捉え、作者の思いを印象付ける上で、どのような効果を上げているかを考える。
 - iv 各和歌の意味（特質・価値）を考える。
 - v 三首の中から一首を選び、批評文にまとめる。
- 3 IIの学習を活用し、新たに自分で選んだ三首を比較して一首を選び出し、表現の仕方の効果や意味を考える学習をする。
(パフォーマンス評価)
- 4 選んだ和歌について批評したものを共有する。
- 5 表現の仕方による効果や意味を考える際のポイントを再度整理し、社会生活等における活用場面を想起する。

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、
「単元を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第1学年

社会科（歴史的分野）

単元名 「中世の日本」

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

我が国の歴史は、どのように「平和で民主的な社会や国家」の実現に向かって歩んでいるのだろうか。

② 単元を貫く問い （単元を通して考え深めていく「問い」）

武士による政治は、民衆の生活や文化にどのような影響を与えたのだろうか。

③ 個別の問い （単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・ 鎌倉幕府は、どのような特徴をもっていたのでしょうか。
- ・ 鎌倉時代となり、武士や民衆の暮らしにはどのような変化が生じたのでしょうか。
- ・ モンゴル帝国の拡大は、我が国にどのような影響を与えたのでしょうか。
- ・ 室町幕府の特徴は、当時の社会をどのように変えていったのでしょうか。
- ・ 東アジアとの交流が盛んになることは、どのような変化を生んだのでしょうか。
- ・ 室町時代の産業の発達、民衆にとってどのような影響があったのでしょうか。
- ・ 応仁の乱による社会構造の変化は、武士や民衆の生活にとってどのような影響を与えたのでしょうか。
- ・ 中世の文化は、古代までの文化と比べて、どのような違いがあったのでしょうか。

単元計画の
構想を立てる

1. 古代までの日本での学習や小学校での既習事項を踏まえ、単元を貫く課題を設定する。
2. 各小単元の課題を追究する。
3. 単元を貫く問いに対する自分の考えをまとめ、学習を振り返る。

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、
「単元を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第2学年

社会科（地理的分野）

単元名 「日本の諸地域」

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

地理的事象を成立させるのはどのような要因だろうか。

② 単元を貫く問い （単元を通して考え深めていく「問い」）

日本の各地域の特色を成り立たせている条件とは何だろうか。

（例）中国・四国地方

中国・四国地方では、交通・通信網の整備により、どのような変化がみられるのだろうか。

③ 個別の問い （単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・ 中国・四国地方では、人口分布、地形や気候にどのような特色が見られるのだろうか。
- ・ 中国・四国地方の人口は、どのように分布して、どのような課題があるのだろうか。
- ・ 中国・四国地方では、交通・通信網の整備により、人口や都市・村落にどのような変化をもたらしたのだろうか。
- ・ 中国・四国地方では、交通・通信網の整備により、産業にどのような変化をもたらしたのだろうか。
- ・ 中国・四国地方では、交通・通信網の整備にはどのような課題があるのだろうか。

単元計画の
構想を立てる

- 1 既習の中項目をもとに、七地方に特徴的な事柄をまとめ、課題を設定する。
- 2 各地方の課題について追究する。
- 3 単元を貫く問いに対する自分の考えをまとめ、学習を振り返る。

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、
「単元を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第2学年

数学科

単元名「図形の性質の調べ方」

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

図形の問題を、数学的な推論（帰納、類推、演繹）によって論理的に
考察し表現するよさは何だろうか？

② 単元を貫く問い （単元を通して考え深めていく「問い」）

数学的な推論の過程を、自分だけでなく、他者にもわかりやすく伝える
ためにはどのように表現したらいいのだろうか？

③ 個別の問い （単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・ 平行線や角の性質は、なぜ成り立つのだろうか？
- ・ 多角形の内角や外角の性質は、なぜ成り立つのだろうか？
- ・ 三角形の合同条件は、どのように成り立つだろうか？
- ・ 三角形が合同であることを、どのように証明すればよいだろうか？

単元計画の
構想を立てる

- 1 星形五角形の先端の5つ角の和から、どんなことが予想できるでしょう。
- 2 平行線や角、多角形の角について、どんな性質があるか調べてみよう。
- 3 証明の必要性和意味を理解し、常に成り立つことがらについて、論理的に確かめてみよう。

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、
「単元を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第2学年

数学科

単元名 一次関数

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

身の回りの事象を，関数とみなして捉えると，どんなことができるだろう。

② 単元を貫く問い （単元を通して考え深めていく「問い」）

表・式・グラフを活用するよさは，どういうところにあるだろう。

③ 個別の問い （単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・ 関数とは何だろうか？
- ・ 様々な事象を式で表すにはどうすればいいのだろうか？
- ・ なぜ，表・式・グラフを用いて2つの数量関係を表すのだろうか？
- ・ 一次関数をどのように活用すれば課題を解決ができるのだろうか？

単元計画の
構想を立てる

A国とB国の平均寿命の推移を示したグラフがある。このグラフからA国とB国の将来について予測しよう。
(パフォーマンス課題)

- 1 具体的な事象の考察を通して，一次関数の意味を理解する。
- 2 一次関数の変化の割合を求めることができる。
- 3 「表・式・グラフ」それぞれを用いた場合の問題解決の方法を理解する。
- 4 「用いるもの」を明確にしてその「用い方」を示し，数学的に説明することができる。

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、
「単元を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第2学年

理科（粒子領域）

単元名 化学変化

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

化学変化は世の中をどのように変えてきたのだろうか？

② 単元を貫く問い （単元を通して考え深めていく「問い」）

化学変化を用いた技術は、私たちにどのような影響をもたらしている
だろうか。

③ 個別の問い （単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・ 化合とはどのような仕組みで起こる反応なのだろうか。
- ・ 酸化・還元はどのような仕組みで起こっているのだろうか。
- ・ 発熱反応・吸熱反応はどのようなところで使われているだろうか。
- ・ 金属や化学カイロ・冷却パックなどの製造（製錬）・使用がおよぼす影響は多面的に考えると、どのようなものがあるだろうか。

単元計画の
構想を立てる

- 1 化合について化学反応式を用いて仮説を立て、実験によってできる物質を確かめる。
- 2 酸化・還元の実験を行い、酸素の結合しやすい原子について考える。
- 3 発熱反応・吸熱反応について、熱効率のよい工夫を考え、実験によって検証する。
- 4 化学変化を利用した産業の私たちの生活への影響について、様々な情報を収集し、議論する。

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、
「題材を貫く問い」を立てて、題材計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第3学年

音楽科

題材名「八長調の音階を使ってまとまりのある旋律をつくろう。」

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

「音楽をつくる」ことのよさは、どこにあるのだろうか？

② 題材を貫く問い （題材を通して考え深めていく「問い」）

音のつながり方を工夫して「まとまりのある音楽」をつくるためには、
どうすればよいのだろうか？

③ 個別の問い （題材を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・和音に合わせて即興的に演奏した旋律（フレーズ）は、どのような感じがしましたか。
また、それはなぜでしょうか。
- ・旋律のリズムを変えると、雰囲気はどのように変化しますか。
- ・和音に含まれていない音を使うと、どのような旋律ができますか。それは、どのような感じがしますか。
- ・まとまりを感じさせる音楽にするために、あなたはどのような工夫をしますか。

題材計画の
構想を立てる

- 1 和音に合わせて即興的に旋律（フレーズ）を演奏し、その旋律にどのようなイメージをもつか、繰り返し試す。
- 2 即興的に音を出して音のつながり方を様々に試しながら、どのような旋律をつくりたいかイメージをもつ。
- 3 イメージに合わせて、もとなる旋律をつくる。
- 4 もとなる旋律のリズムを変えたり、和音に含まれていない別の音を使ったりしながら、イメージに合う旋律になるよう工夫する。
- 5 つくった旋律を発表し合い、友達のアドバイス等を参考に、まとまりのある音楽になるよう、創意工夫する。

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、
「題材を貫く問い」を立てて、題材計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第3学年

音楽科

題材名「音の特徴や重なりを感じてリズムアンサンブルをつくろう。」

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

「音楽をつくる」ことのよさは、どこにあるのだろう？

② 題材を貫く問い （題材を通して考え深めていく「問い」）

音の特徴や重なりを工夫して「まとまりのある音楽」をつくるためには、
どうすればよいのだろう？

③ 個別の問い （題材を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・ ボディーパーカッションで音の出し方を変えると、雰囲気はどのように変化しましたか。また、それはなぜでしょうか。
- ・ 二人でリズムを重ねると、どのような感じがしますか。ずらすとどのような感じがしますか。
- ・ リズムパターンを重ねたりずらしたりすると、どのような感じがしますか。
- ・ まとまりを感じさせる音楽にするために、二人でどのような工夫をしますか。

題材計画の
構想を立てる

- 1 「We Will Rock You」で使われているリズムパターンを、いろいろな音の出し方で演奏し、どのような感じがするか、話し合いながら繰り返し試す。
- 2 二人組になり、同じリズムを重ねたりずらしたりする、違うリズムと重ねる等して、音の重なり方や、音を出す場所（音色）の変化によってどのような雰囲気や特質が生まれるか、話し合いながら繰り返し試す。
- 3 リズムパターンを二つつくり、イメージに合う音楽になるよう工夫する。
- 4 つくった旋律を発表し合い、友達のアドバイス等を参考に、まとまりのある音楽になるよう創意工夫する。

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、
「題材を貫く問い」を立てて、題材計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第3学年

美術科

題材名「墨の世界」

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

自分なりの表現とはどのようなものだろう。

② 題材を貫く問い （題材を通して考え深めていく「問い」）

心の世界をどのように表現すればよいだろう

③ 個別の問い （題材を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・ 墨を使った表現にはどのような特徴があるだろう。
- ・ 墨を使うとどのような表現ができるだろう。
- ・ 効果的な表現方法とはどのようなものだろう。

題材計画の
構想を立てる

- 1 水墨画の作品を鑑賞し、作者の表現意図や水墨画の表現の工夫を感じ取る
- 2 墨を使ってどのような表現ができるか試す。
- 3 自分の表現したいことに合わせて表現を工夫して表す。
- 4 作品鑑賞会を開き、友達の表現の工夫や意図を感じ取る。

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、
「単元を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第1学年

保健体育科

単元（小単元）名 保健分野 (2) 心身の機能の発達と心の健康
(1) 生殖に関わる機能の成熟

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

生涯にわたって健康を保持増進するためには、どうすればいいのだろう。

② 単元を貫く問い （単元を通して考え深めていく「問い」）

思春期の心身の機能の発達に対応し、健康を保持増進するためには、どうすればいいのだろう。

③ 個別の問い （単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・ 思春期に、生殖に関わる機能の成熟が起こるのはなぜだろう。
- ・ 思春期に、心に変化が起こるのはなぜだろう。
- ・ 思春期に、健康を保持増進するための適切な意思決定や行動選択をするためには、どのようにすればいいのだろう。

単元計画の 構想を立てる

- 1 思春期には、性腺刺激ホルモンの働きにより生殖機能が発達することを理解する。
- 2 思春期には、生殖機能の発達により、妊娠が可能になることを理解する。
- 3 思春期には、身体的な成熟に伴い、性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることを理解する。
- 4 <パフォーマンス課題>「現在、インターネットやSNS等様々な方法で性情報が入手できるようになっています。また、それに伴い誤った情報に惑わされたり、犯罪被害に遭ってしまう件数も増加しています。そこで、思春期に、健康を保持増進するための適切な意思決定や行動選択をするための啓発リーフレットを作成することとします。授業で学習した内容を参考にして啓発リーフレットを作成してください。」という課題に取り組み、明るく豊かな生活を営むことができる資質・能力を養う。

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、
「題材を貫く問い」を立てて、題材計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第2学年

技術・家庭（家庭分野）

題材名 わたしたちの消費生活と環境
～我が家のエコライフ計画～

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

持続可能な社会の構築に向けた消費生活とは、どのようなものだろうか

② 題材を貫く問い （題材を通して考え深めていく「問い」）

自立した消費者としての責任ある消費行動とは、どのようなものだろうか

③ 個別の問い （題材を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・ 自分や家族の消費行動にはどんな問題があるだろう
- ・ 商品選択と購入において、どのようなことを検討する必要があるだろう
- ・ モデル家族が上手に金銭管理ができるように、どんなことをアドバイスすべきだろう
- ・ 消費者被害の現状を踏まえ、私たちはどのような行動をとる必要があるだろう

題材計画の
構想を立てる

- 1 自分や家族の消費生活について問題を見だし、課題を設定する。
- 2 課題を交流し、その解決のために学習すべき内容を検討し、グルーピングする。
- 3 課題に基づき、「我が家のエコライフ計画」を立てる。
- 4 課題解決に向けた学習を行う。
（購入方法・支払い方法の特徴、計画的な金銭管理の必要性、売買契約の仕組み、消費者被害の背景、消費者被害への対応、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理、消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響等）
- 5 「我が家のエコライフ計画」を交流し、前時までの学習や相互のアドバイスをもとに見直す。
＜家庭での実践＞
- 6 実践を交流し、活動を評価、改善案を検討する。→今後の自分の生活の課題を再設定する。

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、
「題材を貫く問い」を立てて、題材計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第1学年

技術・家庭（技術分野）

題材名「材料と加工の技術によって、安全な生活の実現をめざそう」
～オーダーメイド家具を開発しよう～

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

すべての人を幸福にする「技術」とは、どうあるべきだろうか。

② 題材を貫く問い （題材を通して考え深めていく「問い」）

より安全な生活をするためには、材料と加工の技術はどうあるべきだろうか。

③ 個別の問い （題材を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- a 身の回りの製品や技術は、私たちの生活を、どのようにして安全にしてくれているのだろうか。
- a 身近な椅子や家具は、どのような意図で開発されたのだろうか。
→技術に込められた問題解決の工夫を考え、技術の見方・考え方に気付く。
- b 消費者の実状と理想の姿（願いや思い、ニーズ）はどのようなものだろうか。
→現実と理想のギャップから問題を見いだす。
- c どのような材料取り、部品加工、組立て・接合、仕上げや検査が必要だろうか。
- c 安全に作業するためには、工具・機器に関するどのような点検・調整や使用後の手入れが必要だろうか。
- d 完成した製作品を消費者のニーズや社会からの要求、安全性、経済性などの側面からどのような改善や修正ができるだろうか。
- e 安全な生活の実現に向けて、材料と加工の技術をどう変えるべきだろうか。
→将来展望について意思決定し、提言する。

※「個別の問い」と「題材計画の構想」の記号は、対応している。

題材計画の 構想を立てる

- a 既存の技術の理解することで、技術の見方・考え方に気付き、あるべきもの（姿）を探求する。
- b あるべきもの（姿）と現実とのギャップから、問題を見いだして課題を設定する。
- c 課題の解決に向けて、解決策を構想、具体化し、解決活動を行う。
- d 解決過程や結果を評価し、改善・修正する。
- e これまでの過程を振り返り、あるべきもの（姿）についてまとめる。

※題材計画については、「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校技術・家庭を参考に作成。

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、
「単元を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第2学年

外国語科

単元名 Universal Design (Unit 5)

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

外国語で言語や文化の異なる他者とより良いコミュニケーションを図るには、どのようなことが大切なのだろう。

② 単元を貫く問い （単元を通して考え深めていく「問い」）

外国語で自分の意見や考えを聞き手に分かりやすく述べるには、どうすればよいだろう。

③ 個別の問い （単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・ 聞き手に分かりやすい表現するためにはどのようなことに気を付けるべきだろう。
- ・ 自分の意見や考えを述べるためにはどんな表現すればよいだろう。
- ・ 聞き手に分かりやすく自分の意見や考えを伝えるためにはどうすればよいだろう。

単元計画の
構想を立てる

- 「我が町のために、私たちができること」についてスピーチをする。
1. ユニバーサルデザインのよさを理解し、我が町の状況を把握する。
 2. 外国人への聞き取りと、我が町の状況を踏まえ、自分たちができることについて意見交換を行う。
 3. 「我が町のために、私たちができること」というテーマでスピーチを行う。

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、
「単元を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第2学年

外国語科

単元名 “Rakugo Goes Overseas”

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

言語や文化の異なる他者と、外国語でより良いコミュニケーションを図るには、どの様なことが大切か。

② 単元を貫く問い （単元を通して考え深めていく「問い」）

相手の状況や意向に応じて外国語で適切な提案や助言をするには、どうすればよいか。

③ 個別の問い （単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・ 誰に対しても同じ提案や助言でよいのか。
- ・ 相手の意向や状況を尋ねるにはどうすればよいか。
- ・ おすすめの場所を具体的に説明するにはどうすればよいか。

単元計画の
構想を立てる

「私たちの町に来ている外国人にアドバイスをしよう！」

- 1 おすすめの場所について具体的に説明する。
- 2 相手の意向や状況についてより多くの情報を得るための質問をする。
- 3 相手の状況や意向に応じて、適切な提案や助言をする。

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、
「1時間の道徳科の授業を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第3学年

道徳科

教材名【内容項目】

一冊のノート『私たちの道徳』【C14 家族愛，家庭生活の充実】

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

家族って何なのだろう？

（C 主として社会や集団との関わりに関すること）

② 授業を貫く問い （1時間の道徳科の授業を通して考え深めていく「問い」）

家族の一員として，どのような思いで関わっていけばよいのだろう？

③ 個別の問い 個別の問い（1時間の道徳科の授業における発問構成）

○みんなにとって，家族とはどんなもの？

○擦れ違う祖母に話し掛けられた時，僕はどうして知らん顔をして通り過ぎたのでしょうか？

○父に何も言えなくなった僕は，どんなことを考えていたのでしょうか？

◎祖母と並んで草取りをする僕は，どんなことを考えていたのでしょうか？

○今日の授業から，家族についてどのようなことを考えましたか？

（1）国語科「百科事典少女」

登場人物の言動などから，家族の在り方について考え，意見をもつ。

（2）道徳科「一冊のノート」

（3）技術・家庭科（家庭分野）「家族・家庭や地域との関わり」

これからの自分と家族との関わりに関心を持ち，家族関係をよりよくする方法を考える。

（4）学級活動「卒業式に向けて」

3年間の中学校生活を振り返り，自分を支えてくれた家族や友人との関わりについて振り返る。

各教科等との
関連を図る

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、
「単元を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第2学年

総合的な学習の時間

単元名 職場体験を通して仕事と自分の生き方を見つめよう

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

どのように自分らしく社会貢献を果たしていくか？

② 単元を貫く問い （単元を通して考え深めていく「問い」）

働くとはどういうことか？

③ 個別の問い （単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・自分のよさや個性は何だろうか
- ・仕事の役割や意義とは何だろうか

単元計画の
構想を立てる

- 1 職場体験の事前調査をし希望する事業所を選ぼう（総合・特活）
- 2 事業所に職場体験を引き受けてもらえるように自己PRをしよう（総合・国語）
- 3 職場体験に取り組み気づきをまとめよう（総合）
- 4 職場体験で学んだ職業人としての生き方を1年生に向けて表現しよう（総合・国語）
- 5 職業体験を経た自分の成長は何だったかまとめよう（総合）